



発行
一宮市児童育成連絡協議会
事務局
一宮市栄3丁目1番2号
尾張一宮駅前ビル4階
(一宮市社会福祉協議会内)
TEL 0586-85-7024
FAX 0586-85-7025

2025年9月4日

ウェブサイト「一の宮っ子」<https://www.intell-inc.com/ichinomiya.jido-ren/>



▲一宮市長から
エールをいただきました

私は、近所や町内会の仕事を
持ち、趣味も色々あります。
魚釣り、里山登山、ウォーキン
グにスポーツジム、そして城址
見学と過ごしています。好きな
ことをするのは心地よく、町内
の仕事や趣味の中での人とのか
かわりも楽しみの一つです。(あ
いさつしたり、おしゃべりした
り、時には酒の席で、知らない
ことを教えてもらったりするこ
とで元気になります。)

今年度から、会長として一宮
市の子ども会にかかわることにな
りました。また色々な人との
かわりが増えることを楽しみに
しています。

指導者の皆さん、子ども会活
動の推進にご協力いただきあり
がとうございます。皆さんの活
動のおかげで、子ども達は、遊
びを通じて社会の一員として必
要な知識、技能、態度を学んで
いることと思います。



「指導者の皆さんへ」

一宮市児童育成連絡協議会
会長 土屋 寛



▲鬼頭隆氏・鬼頭瑞希氏の
コラボによる読み聞かせ

子ども会活動は、健全な仲間
づくりをすすめ、心身の成長発
達に大切な活動を促進助長する
場です。このような活動は、学
校や家庭における教育と共に、
欠くことのできない重要な教育
活動であることを確信し存続し
ていけたらと願っています。

しかしながら、コロナを経て
子ども会活動、地域の活動は、
元に戻ることはなく、地域と子
ども達のかかわりはますます希
薄になっていきます。また、子
ども達の遊びも、スマホで動画
を見たり、ゲームをしたりするこ
とが多くなり、限られた場所、
少人数で楽しむ遊びが増えてき
ました。

遊びの中でも、子ども達同士
のかかわりは少なくなっている
ように思います。人とのかわり
りの中で少しずつ身に付けてい
くマナーや責任感、そして相手



▲ KYT講習会

一宮市内の各連区の安全部長
が集まりKYT講習会を行いました。
K(危険)Y(予知)T(ト
レーニング)を略したもので、

今伊勢町連区
安全部長 鈴木 清美

KYT講習会

を思いやる気持ちが希薄となっ
ているような気がします。子ど
も達が仲間と笑顔で過ごせるよ
うに、子ども会活動を利用して
いただけたらと思います。指導
者の皆さんは、日々、子育てや
仕事に忙しいなか、子ども会活
動を通じて、子ども達が楽しめ
るよう計画、準備されたり、地
域の人と交流されたりしてみえ
ることと思います。そんな姿を
子ども達は見ています。自分達
にかかわってくれることに、う
れしさを感じながら、身近な大
人達を見て覚えていくこともあ
ります。この一年間、苦勞する
こと楽しいこと色々有ると思
いますが、最後には、良かったと
思えるような子ども会活動にし
ていきましょう。



▲日常風景シートを活用した危険認知

子ども会では、昭和60年頃か
ら導入されています。楽しい子
ども会活動も一度、事故が起き
てしまうと、つらい思い出に
なってしまう。場合によつ
ては、死亡事故に繋がってしま
うかもしれません。そんな事
がないように、「どこに危険があ
るか」「どうした行動が危険か」
危険を発見し、そうならない為
にはどうしたら良いかを考え
「自分自身の安全は、自分で確
保する能力を身につける」これ
を目的として、今年は一宮市
ジュニアリーダーが作成してく
れた日常風景シートを活用しま
した。子ども会では、年齢が大
きく離れています。大人には
解っていても子どもには、解
っていない事もあります。大人
の方はまず、子どもの目線にな
って危険を予知しましょう。子
ども会活動は『家を出てから家
に帰るまで』です。事故や怪我
がなく楽しい活動ができるよう
どうぞよろしくお願いします。

2025年度 一宮市子ども会

指導者研修会

西成連区 明星子ども会

指導者 吉田 真由美

指導者研修会に参加し、ご来賓や前年度の指導者の方々と温かいメッセージをいただき、時代の変化に対応する中で、子ども達を笑顔にする工夫を考える大切さを再認識する事が出来ました。

一宮市長からのお話の中で学校施設の鍵の利用方法が少しずつデジタル化している事を知りました。「学校開放事業」は文化活動、スポーツを行う場、そして子ども会活動にとっても、大変重要なものでより多くの学校に早く普及していくと良いと思います。

ジュニアリーダーからはみんなで盛り上がる遊びを体験させていただき、童話作家の鬼頭隆氏、シンガーソングライターの鬼頭瑞希氏からは素敵な話を音色に乗せた親子の想いが深く心に響きました。



▲指導者研修会へようこそ
研修会を通じて貴重な学びがあり、SNSやインターネットを上

手く活用しながら連携をスムーズに進め、お互いのコミュニケーションを大切にしたいです。更に、周りの方々からの支えに感謝し明星子ども会を楽しく盛り上げていきたいと思っています。

浅井町連区 大日比野子ども会

指導者 川合 裕子

この度、一宮市子ども会指導者研修会に参加させていただきました。

先ず会長から子ども会による異世代の交流についてお話がありました。子ども会では下の年代の子をいたわる気持ちが受け継がれて行く良いきっかけになっていると改めて思いました。

前年度の指導者の方の体験発表では、運用に関わる時間が取れない中、SNSを活用しているというお話がありました。運用方法も時代の流れの中で形を変えていく必要があると感じました。

ジュニアリーダーの方からは、2種類のゲームを教えてくださいました。子ども会でも活用していきたいと思っています。そして「おじんの童話」



▲遊びを教えるジュニアリーダー

では、即興ピアノのBGMによる読み聞かせをしてくださいました。主人公たつおは人生の道を外した母親の心無い言動に葛藤します。しかし、少年時代の友人と先生の支えにより、自分の夢を進んでいきました。私たちは、そういった貴重な友人を作る少年時代の行事運営に参加しているのだという事を改めて気づかせていただきました。貴重なお話をありがとうございました。

体験発表

西成連区 丹羽子ども会

指導者 今泉 美佐子

丹羽子ども会では、以前は100名を超える入会者がいましたが、近年は半数まで激減し、それに伴い役員数も減ってきています。少ない役員数でも子ども会活動を継続していけるよう、LINEを活用した事務連絡の簡略化や、役員の活動内容の負担軽減を検討しながら、少しずつ体制を変えて行事に取り組んでいるところです。

また、子ども会活動の楽しさや良さが伝わるように、行事が終わると出来るだけ早くその写真を子ども会のグループLINEで共有し、様子を伝えるコメ



ントを送ったりすることも意識しました。子ども会は保護者や町内会など多くの方に支えられて成り立っているのです、コミュニケーションを大事にしました。

子ども会の魅力は、子どもたちにとっては普段遊んだり話したりしない子たちと一緒に、自分たちだけでは出来ない経験を、学年を越えたみんなで取り組めることだと思います。さらに、同じ地域で暮らす大人たちと関わることで出来る機会にもなります。それは役員ら保護者にとっても同じで、今まで関わりのなかった人たちと顔見知りになり、子どもたちの笑顔を間近でみられる貴重な機会にもなります。

だからこそ、子どもも役員も楽しんで子ども会活動に参加してもらいたいと考えています。

今日、会場に参加されている皆さんの中には、自ら望んで子ども会の役員になった訳ではない方もいらっしゃると思います。役員の活動は時間に制約ができません、負担を感じたりすること、は確かにあります。私もこの一年、しんどいと感じることは正直何度もありました。でも、それ以上に思い出すのは楽しかったという事です。

子どもたちが楽しんでいる姿や頑張っている姿を見ると、それまでの大変だったことは吹き飛びます。役員同士で子どもが喜ぶ姿を想像して色々考えるのも、子ども会に入っていないと出来なかった良い経験でした。皆さんも、無理はせず、「できる時にできることを」を言葉に、

まずは子どもたちと一緒に楽しんでみてください。そして、子ども会に入っていて、役員をやってみてよかったなと少しでも思ってもらえたら嬉しいです。

奥町連区 辰巳町子ども会

指導者 伊夫伎 祐布子

子ども会活動に指導者として携わって一番感じたこと、それは、歴代の子ども会を築いてくださった指導者会の皆さん、子ども達の時や今の町内の皆さんに対する深い感謝です。

近年の辰巳町子ども会は、世帯数約10戸、子ども会員数約15人、全ての親が副指導者、指導者、安全委員と3年連続で務めるのが特徴的です。3月に指導者の役を引継いで直ぐに、交通量の多い道を練り歩くお獅子を4月に主導することは、とても責任重大です。ですが、指導者が副指導者と中心に進めながらも、前年に指導者を経験した安全委員が都度サポートするという、理にかなった会則のおかげで、無事に催すことが出来ました。他にも、町内会のバックアップも厚く、低学年以下の親御さんは付き添い、高学年の親御さんも、子ども会の親で作るグループLINEから状況を察し、積極的に助ける風土があります。お父さんの行事参加も珍しくありません。



心残りなことは、共働きで土日休みでなく、子ども会の役割を務めるのが難しい、習い事のため子ども会の行事に殆ど参加出来ない、などの理由で、検討しても入会を断念されるご家庭が一定数いらっしゃるようです。より入会し易いよう検討しましたが、改善することが出来ませんでした。また、子ども達が主体で進める行事を行いたかったのですが、我が家の事情で、集まって何度も話す十分な時間を確保できず、断念しました。

ただ、出来る限りのことをしようと、お楽しみ会では、時間の都合が運命共同体の家族と、ChatGPTを使って、無料かつ短時間でストーリーやクイズを作り、魔材や百円均一を駆使し、お宝に見立てたお菓子を含め、数千円で脱出ゲームを一から準備出来ました。当日は子ども達や親御さんに、受付や誘導などを手分けして分担してもらい、脱出ゲーム本番では、チーム対抗で力を合わせて脱出することが出来ました。

子ども達が親世代となった時、我が子や町内の子どものために一肌脱こうと思えるような楽しい思い出となつたなら良いなと願ってやみません。



児童福祉週間行事

向山連区 南印田子ども会

六年 大河内 唯花



▲ 海の環境問題劇
「しんでれらひめうみへゆく」

5月18日、向山小学校で行われた、こどもまんなか児童福祉大会に参加しました。

最初に、標語コンクールの入選者表彰がありました。私の子ども会からは、表彰された子どももいて、すごいなと思いました。

次は、劇団シンデレラの劇を見ました。お手伝いで少しだけ舞台上がりました。緊張したけど、貴重な体験ができて楽しかったです。

劇の内容は、海の環境問題についてでした。カメの体にビニールぶくろが付いていたり、ストローがささったりして、プラスチックごみが海の生き物に悪影響をあたえているそうです。他にも、魚の取りすぎで魚が

減っていたり、外国では、食べる物が少なく、いつもお腹をかせている子たちが、たくさんいることも知りました。
環境問題は、一人が努力するのではなく、みんなが協力して解決するものです。

まずは、ペットボトルごみを減らすために、水とうを持ち歩こうと思います。みんなも協力よろしくお願いします。

富士連区 藤塚子ども会

五年 飛田 翔馬



▲ バルーンペットをさがせ！

5月17日、富士小学校のアリーナで福祉大会がありました。今年、たまちゃん、りさちゃんと言う演者さんのバルーンアートと、紙しばいでした。最初の昔話紙芝居では不思議な桃太郎のお話で、紙芝居と同時に体操もするという初めての体験をしました。面白いお話に下級生が大爆笑していたのにつられて、僕も大笑いしていました。

体験したのは、風船型のペットを探すお芝居型のバルーンショーで、まず最初に野菜の風

船が出てきました。次にタコ。うなぎ。カメとどんどん大きな風船になっていき、最後の伊勢海老の風船は、大人の背中ぐらいの大きな風船でした。伊勢海老と一緒に天ぷらも出てきたので、少し気まずかったです。本当にたくさん風船が出てきました。それと良く作れたなと思いました。みんな欲しくて欲しくてたまらない様子でした。その次にもえなかつた人のために、飛ぶネズミの風船と一緒に作りました。とても楽しかったです。皆さんもきかいがあれば行ってください。

大和町連区 戸塚子ども会

六年 小坂井 心優



▲ 「はい！」の声に合わせ跳ぶ！

私は、5月18日に大和中学校で行われた福祉大会に参加しました。競技は、大縄跳び、ムカデ競争、二人三脚、障害物競走です。

特に楽しかったことは、大縄跳びです。私のチームは一年生

から六年生まで8人いて、初めての練習では、全員で1回も跳べずに苦戦したけれど、本番はうまくいきました。私は縄に引っかからないように高く跳んだので、一度も縄に引っかかりませんでした。また、やっているうちに、だれかが「はい！」という声を掛け始め、みんながそれに合わせてジャンプしました。すると、全員が跳べるようになり、跳べる回数が増え、最高記録は7回でした。うれしかったです。声かけるとたくさん跳べることが分かりました。

苦戦したことは、ムカデ競争です。板が重くとても大変でした。特にアンカーの時には、急いで準備をしたので、板がなめになつていて、前に進めず、何回も転んでしまいました。一度降りて板を直しました。急いでいてもあわてずに冷静に行動することの大切さを学びました。

福祉大会に参加すると聞いた時は、暑いし大変だなあと思いましたが、参加してみたら、他の子ども会の友達にも会えて、一緒に競技ができ、楽しかったです。また参加したいです。



▲ 急いでもいいあわてずに



▲びっくりの連続マジックショー

5月11日、子どもフェスティバルに参加しました。今回は王さんの変面&マジックショーを見ました。ショーの初めにいろんなお面に変身して、おどろきました。赤や青、黄などに15回も変身して、少しの時間でちよっとさわるだけで色が変わり、おもしろかったし、はく力もありました。そして次にお姉さんの初恋の相手の名前をあてると、マジックを見ました。その名前を強く念じてそれを感じとったり質問をしたりしてドキドキした空気が流れました。すると「わかりました。」とすらすら紙に名前を書きはじめました。そして答え合わせの時。なんと!!!名前があっていました。とてもびっくりしました。無理だと思ったらできていたのでおどろきの声が多く上がりました。

他にもたくさんさんのマジックがありました。心に残ったマジックが一つあります。いす2つの上に板をおき、その上に男の子をねかせてタオルでまき、いすを1つと板をぬいても男の子は1つのいすの上ののってびっくりしました。この一日で最高の思い出ができました。



奥町連区 神明町子ども会

六年 白井 理桜

私は6月7日に、子ども交流会に参加しました。この交流会でやったゲームはペタンクとラダーゲッター、カラーリングの3つをやりました。私がこのゲームで一番楽しかったのは、ラダーゲッターです。ラダーゲッターとは、ヒモの両側についてボールを持って3段のはしごにむかって投げて、それにかかれば得点がもらえます。直接投げてもいいし、床にはずんでもからヒモにかかっても得点になります。最



▲ラダーゲッター

初はむずかしくてなかなか出来なかったけど、何回かやったらコツをつかんで、できるようになりました。強く投げるスポーツではなく、軽く投げるだけでいいのでだれでも気軽にできて、いいなと思いました。ペタンクは、思っていたよりむずかしくてボールが重たくて、投げにくい所に落ちたのに、ボールが転がって遠くにいったり、急に横に転がっていったり他のボールにぶつかって止まったりして、なかなかむずかしかったです。またやりたいです。



▲意外とむずかしいペタンク

木曾川連区 福塚子ども会

六年 牛丸 青飛

ぼくは、子ども交流会で二ユースポーツをしました。ペタンクとラダーゲッターとカラーリングという3つの遊びです。ペタンクは黄色い球を投げて、そこに自分たちの球を近づける遊びです。チーム



▲力加減が大切 カラーリング

の中ではぼくが一番上手でうれしかったです。2つ目はラダーゲッターをしました。この遊びは、ふりこのような球を遠くから投げてバーにひっかける遊びです。手がげんが難しくなかなかひっかからなかったのが悲しかったです。最後にカラーリングをやりました。この遊びはオリピックなどで見えるカラーリングみたいな遊びで、これも手がげんが難しく力を入れすぎると的を通りすぎたり変な方向へとんでいってしまいました。とても難しかったです。ぼくが一番楽しかったのはカラーリングでした。ぜんぜん知らない子達とやって上手な子もいれば、色々な方向へとんでいってしまいう子もいて、面白かったです。ラダーゲッターが難しかったので練習して上手になりたいと思いました。またこのような遊びをやりたいです。



去る4月26日、子ども会指導者研修会の席上で、多年にわたり子ども会活動の推進にご尽力された、左記のみなさんが一宮市長より感謝状を贈呈されました。

市長感謝状10年

今伊勢町連区児童育成協議会 鈴木 清美 様

大和町連区児童育成協議会 河邊 三代 様

大和町連区児童育成協議会 渡邊 静恵 様

葉栗連区児童育成協議会 小島 由次 様

葉栗連区児童育成協議会 小島 将稔 様



広報委員

赤野 ルミ子・佐藤 真寿美
河邊 三代・松野 真紀
栗本 博子

